

note

KUNST ARZT では、2年ぶり4度目となる清水紗希の個展を開催します。清水紗希は、針金で街並みを描くように形作るアーティストです。鑑賞者の視点によっては、照明で銀色に輝くこともあれば、街の影だけが見えることもあります。それら無人の街並みが見せる陰陽の様は、シンプルな表現だからこそ、淡々と流れる日々の無常観や、そこに住んでいるであろう人々を想像させます。また、ライフワーク的に2016年から開始したA4サイズの区画の「街」が100枚を超える一方で、絵と針金を組み合わせるなどの展開も行なってきました。本展では、立体展開に挑戦した新作もご覧いただけます。彼女の脳内タウンを散策しに来てください。

(KUNST ARZT 岡本光博)



「山脈 -mountain range-」  
針金#30  
2020年

経歴

- 1992 石川県金沢市に生まれる
- 2015 京都嵯峨芸術大学（現・嵯峨美術大学）芸術学部 デザイン学科 イラストレーション領域 卒業
- 2017 京都嵯峨芸術大学（現・嵯峨美術大学）大学院 芸術研究科 デザイン専攻 修了

個展

- 2016 「わたしが いる。あなたが いる。」(KUNST ARZT/ 京都)
- 2017 「Sampo」(ガレリア画廊 / 石川)
- 2018 「expand」(KUNST ARZT/ 京都)
- 2019 「boundary」(KUNST ARZT/ 京都)

グループ展

- 2017 「寛容な線たち ～創生する形象～」(ギャラリー睦 / 千葉)
- 2018 2人展「拓く人」(cumono gallery/ 京都)
- 2018 3人展「記憶をめくる：a piacere」(禁酒会館ギャラリー / 岡山)
- 2019 「第2回 アートハウスおやべ現代造形展」(アートハウスおやべ / 富山)
- 2019 「第5回 宮本三郎記念 デッサン大賞展 -明日の表現を拓く-」(小松市立宮本三郎美術館 / 石川)
- 2020 「Landscape-Heartscape 2020」(Gallery Blau Katze/ 大阪)

2021年5月11日(火) から16日(日)

12:00 から 18:00

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

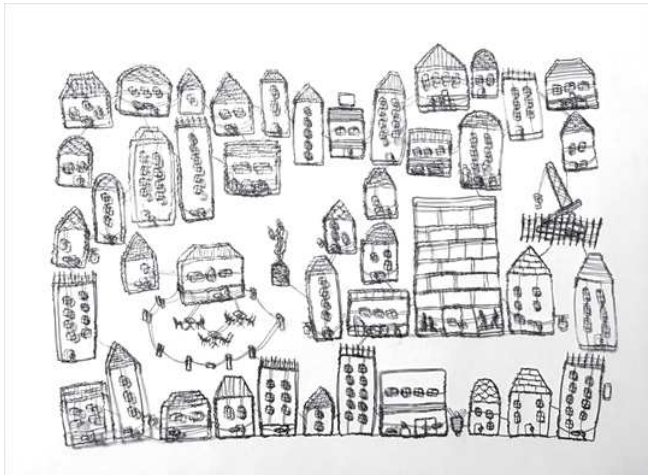
note

アーティストステートメント

針金で街の風景を描いている。  
モチーフとなる街にここといった明確な場所はないが、誰もがいつだったかどこかで見たような、行ったことがあるような、そんな気がする街だ。街に人はおらず、建物が建ち並ぶ風景が続く。私の視線と鑑賞者の視線、鑑賞者どうしの視線が、無人の街の中で交差するとき、街の音や温度、においなど描かれていないはずのものたちがたちあがって見えてくる。また、人がいないからこそ、普段、私たちが生活している中で当たり前存在しているものや人、自分自身の存在について強く認識するものではないかと思う。

今回の個展についてのアーティスト・ステートメント

自分にとって作品をつくるということは、その時の感情や思考、記憶を書きとめていく作業だ。それらの集積が一つの大きな街として形になっていく。変わらないものや変わっていくものをただただ記録しながら広がっていく。



「no.94」  
針金 #30  
2020 年

